

関西北陸ブロック 新学期スタートダッシュセミナー2026

概要

日程：2025年7月5日(土) 10:30~17:00
場所：龍谷大学深草キャンパス和顔館

参加者

富山大(11)、富県大(4)、福井大(31)、京都大(7)、同志社(23)、立命館(43)、京府大(5)、龍谷大(38)、京教大(8)、京都橘(12)、奈良女(10)、奈良教(8)、奈良大(4)、奈高専(4)、滋県大(10)、滋賀大(6)、近畿大(35)、大経大(15)、阪南大(20)、阪電通(5)、公立大(5)、大阪大(10)、大教大(8)、和歌山(6)、樟蔭女(7)、関学大(14)、神外大(4)、甲南大(2)、兵庫県大(8)、事業連合(19)、コープ共済連(2)
計29会員384名(学生委員258名、生協職員105名、新学期サポーター19名、教職員2名)



新学期MVV

【新学期MVV】

関西北陸ブロックの大学生協が、すべての新入生に本当に価値ある事業や活動を届けるために、新学期における共通の方向性を示したものです。



POINT!!
長期的なゴールなので、年度をまたいで繰り返し提案していきます！

全体的に新学期活動とは新生活に対する不安を取り除き4年間、6年間への期待を膨らませるサポートをする活動であるのだからというメッセージを感じ取りました。(京都大/職員)

01

企画①_全体会 新学期MVV・新学期テーマ

関西北陸ブロックの新学期方針を発表！

全体会の冒頭では、大学生協が新学期事業・活動に取り組む意義や、2025年度新学期の振り返りについてお話ししました。そのうえで、より充実した新学期を実現するための長期的なゴールとして「新学期MVV」を、そして2026年度に特に重視すべき方向性として「新学期テーマ」を発表しました。これらを通じて、「新学期とは大学生活をより良いものにするスタート地点である」というメッセージをお伝えしました。

02

企画①_全体会 福井大学生協による報告

愛と想いを届ける新学期づくり

「新学期MVV」を体現した好例として、福井大学生協のみなさんにご報告いただきました。大学生活の具体的な「イメージ」、加入・購入につなげるための「システム」、そして自大学生協やその商品への「愛」。この3つが新学期における三本柱であることを、熱意をもってお話くださいました。「新学期活動とは推し活である」という素敵な言葉をはじめ、非常に印象的な内容でした。



商品や制度への愛(想い)をサポート自身が持つというのが非常に共感した。サポーターにも、その商品やPCを買って、役に立ったことを引き出せるように、声かけをしたい。(大教大/サポーター)

03

企画①_全体会 近畿大学生協による報告

学生と職員で「対話」を重ねる新学期づくり

「学生と職員の連携」を掲げた「2026年度新学期テーマ」を踏まえ、近畿大学生協のみなさんにご報告いただきました。学生と職員が共に取り組むことを目指す中での手応えや課題について、学生・職員双方の視点からお話いただき、参加者にとっては自大学での学生と職員の関わりを改めて見つめ直す機会となりました。より良い新学期実現の第一歩として、学生と職員の連携を大切にしていきたいと思います。



職員さんと学生間のコミュニケーション、対話を通して共通認識を作ることが、組織全体を良くすることにつながったり、より良い新学期活動にもつながったりすると感じた。(福井大/学生委員)

04 企画②_分科会 各会員生協による報告

他の会員の取り組みを知ろう！

ミール、パソコン、共済、説明会、ガイダンス、新歓、早期接点、組織づくりの8つの視点から、9会員×2ターム＝計18会員生協のみなさんに、教訓的な新学期の取り組みをご報告いただきました。各報告は教室ごとに分かれて行われ、15分間の発表の後には、報告を聞いた参加者同士、さらには報告者も交えて、10分間の交流の時間を設けました。他会員生協の学生や職員と意見を交わすことで、報告から刺激を受けるだけでなく、学びをさらに深める貴重な機会となりました。



新学期活動において、早期化をすることが大切だと思いました。どのタイミングで合格が決まっているのかを再確認し、どの時期の合格者にも生協のことを知ってもらえるような活動ができればいいな、と思いました。(富県大/学生委員)

05 企画②_分科会 1年生向け企画

新学期の「受け手」から「担い手」へ

分科会ターム①では、各報告と並行して、1年生参加者向けの企画を実施しました。2026年度に新入生を迎える立場となる第一歩として、自身の入学当手を振り返り、「知れて良かったこと」「もっと知りたかったこと」などを通じて、新入生のニーズについて改めて理解を深めました。

また、様々な会員生協の1年生同士が交流する機会にもなりました。



入学前や新学期を振り返って知ってよかったことや知っておきたかったことを思い出すことによって次の新入生のために活動したいという意識につながりました。(奈良大/学生委員)

06 企画②_分科会 新学期冊子交流会

他会員生協の新学期冊子の工夫とは？

分科会ターム②では、各報告と並行して、新学期冊子について交流できる企画を設けました。新学期冊子の作成に携わった方や関心のある参加者が、それぞれ持参した冊子を見せ合いながら、こだわりのポイントや工夫した点について自由に語り合う時間となりました。

今後の冊子作成に向けて、ヒントやアイデアを得るきっかけになっていれば幸いです！



自分たちの冊子作りに影響を与えるような内容が多かったため、今回の意見を冊子を作る際に活用し、素晴らしいものを作れるようにしたい。(近畿大/学生委員)



まずは学生との対話を増やして、どうしたら入学前に大学生活を新入生にイメージしてもらうことが出来るかを一緒に考えていきたい。(大阪大/職員)

07 企画③_自大学の時間

自大学における新学期の目標を考えよう

セミナーの最後には、自大学の学生・職員が集まり、全体会や分科会で得た学びを共有した上で、「2026年度に向けた新学期活動への想いや目標」について話し合いました。

今後の新学期にどのように臨むか、その方向性を学生と職員が共に確認し合うと同時に、セミナー後に自大学へ持ち帰るための土台づくりの時間にもなりました。

つながる元気、ときめきキャンパス。



ご質問や[K's NEWS]で紹介したい活動があれば、ご連絡ください！
ブロック学生事務局 [大路 愛斗]
Ooji.Aito@univ.coop

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。